

分野	看護の統合と実践 －看護の統合と実践－	対象学年	2
		時期	後期
授業科目	看護の統合と実践演習Ⅱ Integration and practice Nursing Practice Ⅱ	単位	1
		時間	15
		方法	講義・演習
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	担当者複数の場合は、担当教員一覧にて確認		
授業概要	既習の知識を統合し、看護実践を看護組織・個別の対象に対するマネジメントについて学ぶ。老年看護学実習Ⅰでの対象に提供されるケアの経験を活かし、ケーススタディをまとめ、個別のマネジメントを理解する。自分の看護実践によってもたらされた患者の反応を「客観的」に捉え、看護実践の根拠や看護によってもたらされた患者の反応のもつ意味などについて、文献検討を通して、「科学的」に追及し、看護実践を整理し、わかりやすく「論述」する能力を養う。		
目標	1. 老年看護学実習Ⅰの経験をもとに、看護組織のマネジメントを理解する。 2. ケーススタディをまとめることにより、個別のマネジメントを理解する。		
評価方法	課題レポート：看護組織におけるマネジメント（20点） ケーススタディレポート評価（80点）		
使用テキスト	看護のためのわかりやすいケーススタディの進め方 照林社		
参考図書			
メッセージ	組織の中で目標達成のために自分が、どのように行動するか、個人としてだけでなく、全体として看護のマネジメントを考えていくことが大切です。また、ケーススタディをはじめてまとめるにあたり、研究の目的・動機を大切に、実践した結果の意味づけをすることが大切です。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	看護組織におけるマネジメント<1>	看護組織におけるマネジメントの実際について述べられる	看護組織におけるマネジメントの実際① 老年看護学実習Ⅰでの体験から、看護組織におけるマネジメントの実際についてグループで話し合う。	GW	老年看護学実習での体験を話し合いまとめる
2	看護組織におけるマネージメント<2>	看護組織におけるマネジメントの実際について述べられる	看護組織におけるマネジメントの実際② グループで話し合った内容をまとめ発表する。その後、意見交換を行う。	GW 発表	グループ毎に発表し意見交換
3	個別のマネージメント ケーススタディの計画	1. ケーススタディの意義を理解し、目的を明確にする 2. ケーススタディの計画を作成する 3. 「はじめに」に動機、目的、テーマ設定を論理的に表現する	個別のマネジメントの実際 1) ケーススタディの意義と目的を明確にする。ケーススタディの計画書を利用し、テーマ・動機・目的を明らかにする。研究のタイムスケジュールを考える。 2) はじめに 「はじめに」に動機、目的、テーマ設定を論理的に表現する。	講義 個人 ワーク	老年看護学実習Ⅰ 実集記録をもとに患者の全体像をまとめる
4	ケーススタディ<1>患者紹介と看護の実際	1. 得られた情報の中から必要な情報を選択し、患者紹介を記述する 2. 看護の実際と経過を研究目的に沿って正確に記述する	2) ケーススタディ：患者紹介と看護の実際 看護の実際と経過を正確に記述する。	講義 個人 ワーク	

5	ケーススタディ <2>考察	得られた結果を解釈し、意味づけし文章化する	3) ケーススタディ：考察（結果の解釈） 実施結果の意味づけ・解釈、文献を活用し、実践したことを振り返る。	講義 個人ワーク	
6	ケーススタディ <3>全体のまとめ①	ケーススタディの目的・対象の特性、方法など簡潔に表される「表題」をつける	4) ケーススタディ：全体のまとめ① ケーススタディの目的・対象の特性、方法など簡潔に表される「表題」をつける。	講義 個人ワーク	
7	ケーススタディ <4>全体のまとめ②	ケーススタディの構成に従って文章化したものの一貫性、論理性を見直し、追加・修正する	5) ケーススタディ：全体のまとめ② ケーススタディの構成に従って文章化したものの一貫性、論理性を見直し、追加・修正する。	講義 個人ワーク	
8	ケーススタディ <5>まとめ	ケーススタディの構成に従い、文章化したものを見直し、追加・修正をする	6) まとめ ケーススタディの目的が達成されたか、ケーススタディの意義を振り返る。	講義 GW 個人ワーク	